

# 令和8年度就業前長期研修カリキュラム Syllabus



伐木実習に臨む研修生

## 目 次

### Contents

I	研修アウトライン	1
II	研修科目と達成目標	3
III	研修時限数	4
IV	評価方法と評価基準	7
V	年間研修カレンダー	9
VI	月間研修カレンダー	11
VII	シラバス	23
VIII	林業アカデミーふくしまサポートチーム	79

## I 研修アウトライン

### 1 研修方針

林業アカデミーふくしまでは、本県林業を担う人材として

- 1) 実践力を有し、安全に現場作業を行える『人財』
- 2) 地域の森林経営管理を担う『人財』

を育成することとしています。

就業前長期研修では、本県アカデミーの特色を活かし、林業に必要な基礎知識や技術を体系的に習得し、将来的に本県林業の中核を担う現場技術者を育成します。

安全を最優先とし、適期の研修を実施するとともに、各研修のつながりを意識できるカリキュラム構成とします。

また、林業の関係団体、事業体及び機械メーカー等で構成する「林業アカデミーふくしまサポートチーム」の協力により、研修内容を充実させていきます。

### 2 研修期間

1年（令和8年4月6日（月）から令和9年3月5日（金））

### 3 研修日数及び時間

215日（土日祝日は原則休講）、1,501時限（1時限50分）

### 4 定員

15名

### 5 時間割

時限	1	2	3	4	5	6	7
研修時間	9:10～ 10:00	10:10～ 11:00	11:10～ 12:00	13:00～ 13:50	14:00～ 14:50	15:00～ 15:50	16:00～ 16:50

※講座によっては、上記の時間割に基づかない場合もあります。

### 6 講師

#### (1) 内部講師

福島県林業職職員

#### (2) 外部講師

林業アカデミーふくしまサポートチーム、大学講師、森林総合研究所職員、林業事業体職員等

### 7 研修場所

#### (1) 福島県林業研究センター内 林業アカデミーふくしま研修棟・実習棟

#### (2) 実習現場

妙見山国有林・郷土郷土国有林・塙町有林（林業アカデミーふくしま実習フィールド）、民有林、木材市場、木材加工工場、特用林産施設等

## 8 取得できる資格

### (1) 技能講習

- ・車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習
- ・不整地運搬車運転技能講習
- ・小型移動式クレーン運転技能講習
- ・玉掛技能講習

### (2) 特別教育

- ・伐木等業務に係る特別教育
- ・伐木等機械運転業務に係る特別教育
- ・走行集材機械運転技術に係る特別教育
- ・簡易架線集材装置運転業務に係る特別教育
- ・機械集材装置運転業務に係る特別教育
- ・ロープ高所作業の業務に係る特別教育
- ・フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

### (3) 安全衛生教育

- ・刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育
- ・はい作業従事者安全衛生教育

### (4) その他

- ・赤十字救急法救急員養成講習
- ・林業架線作業主任者免許規程に定められた講習

## Ⅱ 研修科目と達成目標

区分	科目	達成目標
森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	森林・林業	森林の多様性と林業の社会的役割を理解するとともに、林業技術者となるための基礎的な知識を習得する。
	林産利用	林業経営の基礎とするため、木材流通・加工及び特用林産物に関する基礎知識を習得する。
	林業経営・先端技術等	林業の効率化に資する各種ICT機器の活用可能性について理解するとともに、林業経営の仕組みと本県特有の課題である放射性物質の現状と課題・対策を習得する。
林業施業「技術」の習得	造林・育林	健全な森林の維持に必要となる造林・育林技術の基礎を習得する。
	伐木・造材	素材生産を安全に行うために必要となる伐木・造材技術の基礎を習得する。
	測量・測樹	森林管理に必要となる調査・測量技術の基礎を習得する。
	林業機械・路網	安全で効率的な林業経営に資する高性能林業機械や林内路網について理解を深めるとともに、操作技術や作設技術等の基礎を習得する。
	安全衛生	林業における安全の重要性を理解するとともに、安全確保のための活動に関する基礎を習得する。
「資格」の取得	救命講習	赤十字救急法基礎講習認定証、救急法救急員養成講習認定証を取得する。
	刈払機	刈払機の安全衛生教育を受講し、修了証を取得する。
	伐木	伐木等の業務に係る特別教育を受講し、修了証を取得する。
	高性能林業機械等	高性能林業機械（走行集材、伐木等、簡易架線集材装置）運転に係る特別教育を受講し、修了証を取得する。
	車両系建設機械	車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習を受講し、修了証を取得する。
	不整地運搬車	不整地運搬車運転技能講習を受講し、修了証を取得する。
	小型移動式クレーン	小型移動式クレーン運転技能講習を受講し、修了証を取得する。
	玉掛	玉掛け技能講習を受講し、修了証を取得する。
	ロープ高所作業	ロープ高所作業の業務に係る特別教育を受講し、修了証を取得する。
	墜落制止用器具	墜落制止用器具を用いて行う作業の業務に係る特別教育を受講し、修了証を取得する。
	はい作業	はい作業従事者安全衛生教育を受講し、修了証を取得する。
	架線集材	林業架線作業主任者免許規程に基づく林業架線作業講習を修了する。
「インターンシップ」の実施	就業体験	林業の現場や就業の具体的なイメージをつかむとともに、自らの希望に沿う就業先となりうる企業の情報収集を行う。
	総合講義	社会人として林業に携わりながら生活する上でのマナーや姿勢を習得する。

区分	科目	通番号	講義	講義時限			備考
				座学	実習	計	
(1) 森林・林業に関する幅広い知識の習得	森林・林業	1	森林・林業の基礎	7.0	7.0	14.0	
		2	林業の仕事	1.0	6.0	7.0	
		3	林業の手道具	2.0	5.0	7.0	
		4	森林・林業政策	3.0	0.0	3.0	
		5	樹木学、樹木調査	6.0	8.0	14.0	
		6	森林保護	5.0	9.0	14.0	
	林産利用	7	木材流通概論(需給とSCM)	3.0	4.0	7.0	
		8	原木市場	2.0	2.0	4.0	
		9	木材加工	8.0	2.0	10.0	
		10	木造建築	3.0	4.0	7.0	
		11	木質バイオマス利用	2.0	5.0	7.0	
		12	検知	0.0	3.0	3.0	
		13	特用林産	3.0	11.0	14.0	
	林業経営・先端技術等	14	林業経営の基礎	1.0	20.0	21.0	
		15	現場管理の基礎	10.0	0.0	10.0	
		16	林業ICTと森林GISの基礎	4.0	10.0	14.0	
		17	ドローン技術	2.0	5.0	7.0	
		18	森林3次元計測技術	2.0	5.0	7.0	
		19	ハーベスタシミュレータートレーニング	0.0	28.0	28.0	
		20	放射線の基礎、森林における放射性物質対策、放射線防護	3.0	4.0	7.0	
(1)森林・林業に関する幅広い知識の習得 計				67.0	138.0	205.0	

区分	科目	通番号	講義	講義時限			備考
				座学	実習	計	
(2) 森林作業技術の習得	造林・育林	21	育苗	2.0	12.0	14.0	
		22	造林・更新	7.0	21.0	28.0	
		23	刈払機の取扱と安全性の追求	4.0	0.0	4.0	
		24	下刈、つる切、除伐、枝打	7.0	49.0	56.0	
		25	間伐	4.0	24.0	28.0	
		26	萌芽整理	0.0	7.0	7.0	
	伐木・造材	27	チェーンソーの取扱と安全性の追求	0.0	17.0	17.0	
		28	チェーンソー伐木造材技術	6.0	239.0	245.0	
		29	広葉樹伐木造材技術	4.0	17.0	21.0	
		30	素材生産総合技術	7.0	0.0	7.0	
	測量・測樹	31	境界管理	5.0	6.0	11.0	
		32	立木調査	4.0	10.0	14.0	
		33	周囲測量(GNSS受信機、コンパスなど)	7.0	14.0	21.0	
		34	縦断・横断測量	2.0	19.0	21.0	
	林業機械・路網	35	高性能林業機械運転技術	3.0	74.0	77.0	
		36	林内路網	7.0	70.0	77.0	
	安全衛生	37	安全の基礎	13.0	15.0	28.0	
		38	労働災害対応	1.0	3.0	4.0	
(2)森林作業技術の習得 計				83.0	597.0	680.0	

区分	科目	通番号	講義	講義時限			備考
				座学	実習	計	
(3) 資格の取得	救命講習	39	救命訓練	5.5	11.5	17.0	
	刈払機	40	刈払い等業務の基礎	5.0	1.0	6.0	
	伐木	41	伐木等業務の基礎	9.0	9.0	18.0	
	高性能林業機械等	42	走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎	14.0	21.0	35.0	
	車両系建設機械	43	車両系建設機械運転技術	15.0	25.0	40.0	
	不整地運搬車	44	不整地運搬車運転技術	9.0	5.0	14.0	
	小型移動式クレーン	45	小型移動式クレーン運転技術	14.0	7.0	21.0	
	玉掛	47	玉掛け技術	11.0	6.0	17.0	
	ロープ高所作業	48	ロープ高所作業技術	4.0	3.0	7.0	
	墜落制止用器具	49	フルハーネス型安全帯使用作業	4.0	2.0	6.0	
	はい作業	46	はい作業技術	5.0		5.0	
架線集材	50	架線集材	49.0	56.0	105.0		
(3)資格の取得 計				144.5	146.5	291.0	
(4) インターンシップの実施等	就業体験	51	就業体験(インターンシップ)	44.0	147.0	191.0	
	総合講義	52	オリエンテーション	6.0	4.0	10.0	
		53	社会人教養	89.0	21.0	110.0	
		54	地域貢献活動	0.0	7.0	7.0	
		55	森林文化	2.0	5.0	7.0	
(4)インターンシップの実施等 計				141.0	184.0	325.0	
合計				435.5	1,065.5	1,501	研修時間 1,251

## IV 評価方法と評価基準

### 1 評価方法

評価単位は科目ごととし、次の項目について評価します。

なお、病気、負傷その他やむを得ない事情により欠席するときは、補習を受けることができます。

#### (1) 出席時限数

各科目に定める全時限数に対する出席時限数の割合で評価します。

#### (2) 取組姿勢

ふり返しシートの記載や科目担当職員による受講状況確認結果で評価します。

#### (3) 筆記試験等

区分「森林・林業に関する幅広い知識の習得」の科目を対象にして行う、研修内容の理解度を判定するための筆記試験で評価します。

#### (4) 習得度検定

科目「伐木・造材」を対象にして行う、別に定める習得度検定で評価します。

#### (5) 資格取得

区分「資格の取得」の科目を対象とし、資格の取得状況で評価します。

評価項目整理表

区分	科目名	評価項目					備考
		出席	取組姿勢	筆記試験	習得度検定	資格取得	
知識の習得	森林・林業	○	○	○			
	林産利用	○	○	○			
	林業経営・先端技術等	○	○	○			
技術の習得	造林・育林技術	○	○				
	伐木・造材	○	○		○		
	測量・測樹	○	○				
	林業機械・路網	○	○				
	安全衛生	○	○				
資格の取得	各資格取得科目					○	
インターンシップ等	インターンシップ	○	○				受入先の評価等による
	総合講義	○	○				

## 2 評価基準

評価項目	評価基準
出席時限数	科目ごとに規定時限数の80%以上の出席を確認し評価
取組姿勢	適切に受講していないと判断される場合、当該講義については欠席と同様の取扱とする
筆記試験	試験の結果を科目ごとに採点し、6割以上の成績を確認し評価
習得度検定	別に定める習得度検定の修了をもって評価
資格取得	当該資格の取得をもって評価

## V 年間研修カレンダー（令和8年度）

	4	5	6	7	8	9	
1	水	金 GW休暇	月	水	土	火	1
2	木	土	火	木	日	水	2
3	金	日 憲法記念日	水	金	月	木	3
4	土	月 みどりの日	木	土	火	金	4
5	日	火 こどもの日	金	日	水	土	5
6	月 入構式	水 振替休日	土	月	木	日	6
7	火	木	日	火	金	月	7
8	水	金	月	水	土	火	8
9	木	土	火	木	日	水	9
10	金	日	水	金	月	木	10
11	土	月	木	土	火 山の日	金	11
12	日	火	金	日	水 夏季休暇	土	12
13	月	水	土	月	木 夏季休暇	日	13
14	火	木	日	火	金 夏季休暇	月	14
15	水	金	月	水	土	火	15
16	木	土	火	木	日	水	16
17	金	日	水	金	月	木	17
18	土	月	木	土	火	金	18
19	日	火	金	日	水	土	19
20	月	水	土	月 海の日	木 就職ガイダンス	日	20
21	火	木	日	火	金 就職ガイダンス	月 敬老の日	21
22	水	金	月	水	土	火 国民の休日	22
23	木	土	火	木	日	水 秋分の日	23
24	金 就職ガイダンス	日	水	金	月	木	24
25	土	月	木	土	火	金	25
26	日	火	金	日	水	土	26
27	月	水	土	月 就業体験	木	日	27
28	火	木	日	火 就業体験	金	月 就業体験	28
29	水 昭和の日	金	月	水 就業体験	土	火 就業体験	29
30	木 GW休暇	土	火	木	日	水 就業体験	30
31		日		金	月		31
研修 日数	17	17	22	22	17	19	

	10	11	12	1	2	3	
1	木 就業体験	日	火	金 元日	月	月	1
2	金 就業体験	月	水	土 年末年始休暇	火	火	2
3	土	火 文化の日	木	日 年末年始休暇	水	水	3
4	日	水	金	月	木	木	4
5	月 就業体験	木	土	火	金	金 修了式	5
6	火 就業体験	金	日	水	土	土	6
7	水 就業体験	土	月	木	日	日	7
8	木 就業体験	日	火	金	月	月	8
9	金	月	水	土	火	火	9
10	土	火	木	日	水	水	10
11	日	水	金	月 成人の日	木 建国記念の日	木	11
12	月 スポーツの日	木	土	火 就業体験	金	金	12
13	火	金	日	水 就業体験	土	土	13
14	水	土	月	木 就業体験	日	日	14
15	木	日	火	金 就業体験	月	月	15
16	金	月	水	土	火	火	16
17	土	火	木	日	水	水	17
18	日	水	金	月 就業体験	木	木	18
19	月 振替休日	木	土	火 就業体験	金	金	19
20	火	金	日	水 就業体験	土	土	20
21	水	土	月	木 就業体験	日	日 春分の日	21
22	木	日	火	金 就業体験	月	月 振替休日	22
23	金	月 勤労感謝の日	水	土	火 天皇誕生日	火	23
24	土 地域貢献活動	火	木	日	水	水	24
25	日	水	金 筆記試験	月	木	木	25
26	月	木	土	火	金	金	26
27	火	金	日	水	土	土	27
28	水	土	月 年末年始休暇	木	日	日	28
29	木	日	火 年末年始休暇	金		月	29
30	金	月	水 年末年始休暇	土		火	30
31	土		木 年末年始休暇	日		水	31
	21	19	19	19	18	5	
研修日数計215							

VI 月間研修カレンダー

4月

日\時限		1	2	3	4	5	6	7	摘要	
1	水									
2	木									
3	金									
4	土									
5	日									
6	月	52 オリエンテーション(研修要領、施設・設備の使い方)	52 オリエンテーション(入講式)	52 オリエンテーション(施設・設備の見学等)						入講式
7	火	53 社会人教養(コミュニケーションスキル)								
8	水	1 森林・林業の基礎(日本の森林と森林の役割、森林を育てる木を収穫するほか)			1 森林・林業の基礎(基礎知識、構造と発達段階)					
9	木	37 安全の基礎(災害の現状、衛生法)				37 安全の基礎(ヘビ、ハチ等危険性)				
10	金	2 林業の仕事(主な諸団体、森林組合視察、民間林業経営体視察)								
11	土									
12	日									
13	月	3 林業の手道具(刃物の基礎知識、手道具の用途と使い方、ロープワーク)								
14	火	40 刈払等業務の基礎						53 社会人教養(自己啓発)		
15	水	41 伐木等業務の基礎								
16	木	41 伐木等業務の基礎								
17	金	41 伐木等業務の基礎				53 社会人教養(自己啓発)				
18	土									
19	日									
20	月	13 特用林産(きのこの生態・生産方法、薪炭生産、桐・漆生産概要)			13 特用林産(植菌作業体験実習)					
21	火	28 チェーンソー伐木造材技術(講師による伐採実演、伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								
22	水	33 周囲測量(地図の見方、測量基礎知識、GNSS操作)								
23	木	6 森林保護(気象害、病虫獣害の種類と特徴、防除方法)			6 森林保護(シカ害防除現場視察)					
24	金	51 就業体験(就職ガイダンス)								
25	土									
26	日									
27	月	53 社会人教養(自己啓発)				39 救命訓練(基礎講習)				
28	火	1 森林・林業の基礎(福島森林と林業の成り立ち、震災と原発事故の影響ほか)			1 森林・林業の基礎(森林の環境)					
29	水									昭和の日
30	木									GW休暇

# 5月

日\時限		1	2	3	4	5	6	7	摘要
1	金								GW休暇
2	土								GW休暇
3	日								憲法記念日
4	月								みどりの日
5	火								こどもの日
6	水								振替休日
7	木	32 立木調査(標準地の取り方、直径の測り方、樹高の測り方、林分材積の計算)							
8	金	32 立木調査(プロット調査実習)							
9	土								
10	日								
11	月	43 車両系建設機械運転技術							
12	火	43 車両系建設機械運転技術							
13	水	27チェーンソーの取扱と安全性の追求							
14	木	27チェーンソーの取扱と安全性の追求							
15	金	23刈払機の取扱と安全性の追求 27チェーンソーの取扱と安全性の追求							
16	土								
17	日								
18	月	43 車両系建設機械運転技術							
19	火	43 車両系建設機械運転技術							
20	水	43 車両系建設機械運転技術							
21	木	43 車両系建設機械運転技術					53 社会人教養(自己啓発)		
22	金	28 チェーンソー伐木造材技術(講師による伐採実演、伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
23	土								
24	日								
25	月	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎							
26	火	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎							
27	水	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎							
28	木	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎							
29	金	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎							
30	土								
31	日								

## 6月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 月	37 安全の基礎(事故の事例研究,キックバックと枝落下衝撃シミュレーション)			38 労働災害対応(避難訓練)				
2 火	39 救命訓練(救急員養成講習)							
3 水	39 救命訓練(救急員養成講習)					53 社会人教養(自己啓発)		
4 木	6 森林保護(間伐手遅れ林分、ナラ枯れ被害地等現場視察等)							
5 金	5 樹木学、樹木調査(樹木の特徴と分類、代表的樹種の特徴)			5 樹木学、樹木調査(樹木識別(葉・樹皮))				
6 土								
7 日								
8 月	48 ロープ高所作業技術							
9 火	22 造林・更新(座学)							
10 水	24 下刈り、つる切り、除伐、枝打ち(座学)							
11 木	25 間伐(間伐の目的と必要性～混み方の指標)							
12 金	25 間伐(定性間伐林分の立木評価)							
13 土								
14 日								
15 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
16 火	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
17 水	44 不整地運搬車運転技術							
18 木	44 不整地運搬車運転技術/24 下刈り(下刈り実習)							
19 金	44 不整地運搬車運転技術/24 下刈り(下刈り実習)							
20 土								
21 日								
22 月	21 育苗(苗木の生産方法、特徴、生産現場視察)							
23 火	19 ハーベスタシミュレータートレーニング							
24 水	19 ハーベスタシミュレータートレーニング							
25 木	14 林業経営の基礎(林家、森林組合、林業事業者への聞き取りまたは現地視察)							
26 金	20 放射性物質対策							
27 土								
28 日								
29 月	24 下刈り(下刈り実習)							
30 火	24 下刈り(下刈り実習)							

# 7月

日\時限		1	2	3	4	5	6	7	摘要
1	水	24 下刈り(下刈り実習)							
2	木	53 社会人教養(自己啓発)							
3	金	45 小型移動式クレーン運転技術							
4	土								
5	日								
6	月	45 小型移動式クレーン運転技術							
7	火	45 小型移動式クレーン運転技術							
8	水	18 森林3次元計測技術(レーザーによる測量・計測・航測、システムを用いた森林調査)							
9	木	50 架線集材							
10	金	50 架線集材							
11	土								
12	日								
13	月	50 架線集材							
14	火	50 架線集材							
15	水	50 架線集材							
16	木	50 架線集材							
17	金	50 架線集材							
18	土								
19	日								
20	月								海の日
21	火	53 社会人教養(ビジネスマナー実習)							
22	水	28 チェーンソー伐木造材技術(牽引具等の取扱)							
23	木	14 林業経営の基礎(林家、森林組合、林業事業者への聞き取りまたは現地視察)							
24	金	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)						51 就業体験(インターンシップ)	
25	土								
26	日								
27	月	51 就業体験(インターンシップ)							
28	火	51 就業体験(インターンシップ)							
29	水	51 就業体験(インターンシップ)							
30	木	53 社会人教養(自己啓発)							
31	金	51 就業体験(インターンシップ; 面談、礼状作成、発表)							

# 8月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要	
1	土								
2	日								
3	月	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
4	火	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
5	水	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
6	木	14 林業経営の基礎(林業経営の概要、林家、森林組合、林業事業者への聞き取りまたは現地視察)							
7	金	37 安全の基礎(危険予知ミーティングとリスクアセスメント、事故発生時の緊急連絡)				53 社会人教養(自己啓発)			
8	土								
9	日								
10	月	24 下刈り(下刈り実習)							
11	火								山の日
12	水								夏期休暇
13	木								夏期休暇
14	金								夏期休暇
15	土								
16	日								
17	月	47 玉掛け技術							
18	火	47 玉掛け技術				53 社会人教養(自己啓発)			
19	水	47 玉掛け技術							
20	木	51 就業体験(就職ガイダンス)							
21	金	51 就業体験(就職ガイダンス)							
22	土								
23	日								
24	月	7 木材流通概論(需給と価格の仕組み、木材流通の基礎、原木の用途と製材の基本)				7 木材流通概論(需給とSCM)(中間土場、近隣工場等視察)			
25	火	8 原木市場(市場の特徴、規格・品質、採材、品質の見方)		9 木材加工(強度特性、強度に影響する因子、乾燥と製材)					
26	水	9 木材加工(強度特性、強度に影響する因子、乾燥と製材)			8 原木市場(現地視察)		9 木材加工(工場現地視察)		
27	木	10 木造建築(構造・構法、木質化、木材利用の歴史と文化)				10 木造建築(公共木材利用施設視察)			
28	金	11 木質バイオマス利用(熱エネルギー利用、発電利用等)		11 木質バイオマス利用(バイオマス関連施設の視察)					
29	土								
30	日								
31	月	50 架線集材							

9月

日\時限		1	2	3	4	5	6	7	摘要
1	火	50 架線集材							
2	水	50 架線集材							
3	木	50 架線集材							
4	金	50 架線集材							
5	土								
6	日								
7	月	50 架線集材							
8	火	50 架線集材							
9	水	28 チェーンソー伐木造材技術(JLC/WLC伐木競技から学ぶ安全技術)							
10	木	28 チェーンソー伐木造材技術(JLC/WLC伐木競技から学ぶ安全技術)							
11	金	50 架線集材							
12	土								
13	日								
14	月	53 社会人教養(プレゼンテーションスキル)			53 社会人教養(プレゼンテーション実習)				
15	火	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
16	水	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
17	木	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
18	金	55 森林文化							
19	土								
20	日								
21	月								敬老の日
22	火								国民の休日
23	水								秋分の日
24	木	37 安全の基礎(リスクアセスメント実習)				53 社会人教養(所得と税金)			
25	金	53 社会人教養(自己啓発)							インターン準備等
26	土								
27	日								
28	月	51 就業体験(インターンシップ)							
29	火	51 就業体験(インターンシップ)							
30	水	51 就業体験(インターンシップ)							

# 10月

日\時限		1	2	3	4	5	6	7	摘要
1	木	51 就業体験(インターンシップ)							
2	金	51 就業体験(インターンシップ)							
3	土								
4	日								
5	月	51 就業体験(インターンシップ)							
6	火	51 就業体験(インターンシップ)							
7	水	51 就業体験(インターンシップ)							
8	木	51 就業体験(インターンシップ)							
9	金	53 社会人教養(自己啓発)							自習(片付け、林業祭準備等)
10	土								
11	日								
12	月								スポーツの日
13	火	51 就業体験(インターンシップ; 面談、礼状作成、発表)							
14	水	21 育苗(苗木の生産方法、特徴、生産現場視察)							
15	木	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
16	金	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
17	土								
18	日								
19	月	12 検知	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)						
20	火	22 造林・更新(実習)							
21	水	22 造林・更新(実習)							
22	木	22 造林・更新(実習)							
23	金	53 社会人教養(自己啓発)							
24	土	54 地域貢献活動(福島県林業祭)							
25	日								
26	月								振替休日(林業祭)
27	火	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
28	水	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
29	木	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
30	金	46 はい作業技術	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)						
31	土								

# 11月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 日								
2 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
3 火								文化の日
4 水	33 周囲測量(コンパス測量実習)							
5 木	25 間伐(選木実習)							
6 金	25 間伐(選木実習、樹高の測定と伐倒危険範囲、重心の見方と伐倒方向の決め方)							
7 土								
8 日								
9 月	53 社会人教養(自己啓発)			31 境界管理				
10 火	31 境界管理							
11 水	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
12 木	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
13 金	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(フォワーダ、グラブブル基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
14 土								
15 日								
16 月	34 縦断・横断測量(作業道作設における測量の基礎)		34 縦断・横断測量(縦断・横断測量実習)					
17 火	34 縦断・横断測量(縦断・横断測量実習、曲線部の測量実習)							
18 水	36 林内路網(路網の種類、作業道の規格、路網作設時の留意点、路線の選定)							
19 木	36 林内路網(踏査実習)							
20 金	36 林内路網(踏査実習)							
21 土								
22 日								
23 月								勤労感謝の日
24 火	24 つる切、除伐、枝打等(枝打作業の流れと安全、枝打実習)							
25 水	24 つる切、除伐、枝打等(枝打作業の流れと安全、枝打実習)							
26 木	34 縦断・横断測量(FRDによる設計実習)							
27 金	15 現場管理の基礎(提案型集約化施業、森林施業プランナー)							
28 土								
29 日								
30 月	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブブル実習)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							

# 12月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 火	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
2 水	36 林内路網(バックホー基本操作)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
3 木	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)/36 林内路網(森林作業道作設実習)							
4 金	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)/36 林内路網(森林作業道作設実習)							
5 土								
6 日								
7 月	33 周囲測量(GNSS操作)							
8 火	16 林業ICTと森林GISの基礎(情報通信技術、GISの基礎、オープンデータ活用、GIS実習)							
9 水	16 林業ICTと森林GISの基礎(GIS実習)							
10 木	36 林内路網(森林作業道作設実習)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)							
11 金	36 林内路網(森林作業道作設実習)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)							
12 土								
13 日								
14 月	49 フルハーネス型安全带使用作業						53 社会人教養(自己啓発)	
15 火	17 ドローン技術(空撮・情報取得・物資輸送、ドローン実習)							
16 水	29 広葉樹伐木造材技術(針葉樹との違い、伐倒方法、特殊伐採)				29 広葉樹伐木造材技術(広葉樹の玉切り)			
17 木	29 広葉樹伐木造材技術(追いツル伐り実習)							
18 金	29 広葉樹伐木造材技術(追いツル伐り実習)							
19 土								
20 日								
21 月	53 社会人教養(ファンリテーション実習)							
22 火	4 森林・林業政策(森林・林業・木材産業の現状と課題、基本法・森林法、森林計画制度、伐採届等)			28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)				
23 水	26 萌芽整理							
24 木	5 樹木学、樹木調査(識別実習(冬芽)、識別実習(丸太))							
25 金	53 社会人教養(筆記試験)			53 社会人教養(自己啓発)				
26 土								
27 日								
28 月								年末年始休暇
29 火								年末年始休暇
30 水								年末年始休暇
31 木								年末年始休暇

1月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 金								元旦
2 土								年末年始休暇
3 日								年末年始休暇
4 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
5 火	36 林内路網(森林作業道作設実習)/35 高性能林業機械運転技術(スイングヤーダ基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
6 水	36 林内路網(森林作業道作設実習)/35 高性能林業機械運転技術(スイングヤーダ基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
7 木	36 林内路網(森林作業道作設実習)/35 高性能林業機械運転技術(スイングヤーダ基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
8 金	37 安全の基礎(リスクアセスメント実習)			51 就業体験(インターンシップ)	53 社会人教養(自己啓発)			
9 土								
10 日								
11 月								成人の日
12 火	51 就業体験(インターンシップ)							
13 水	51 就業体験(インターンシップ)							
14 木	51 就業体験(インターンシップ)							
15 金	51 就業体験(インターンシップ)							
16 土								
17 日								
18 月	51 就業体験(インターンシップ)							
19 火	51 就業体験(インターンシップ)							
20 水	51 就業体験(インターンシップ)							
21 木	51 就業体験(インターンシップ)							
22 金	51 就業体験(インターンシップ)							
23 土								
24 日								
25 月	51 就業体験(インターンシップ; 面談、礼状作成、発表)							
26 火	53 社会人教養(自己啓発)							
27 水	30 素材生産総合技術(機械概論、機械と路網の関係、作業システムと工程管理)							
28 木	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
29 金	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)							
30 土								
31 日								

## 2月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	摘要
1 月	13 特用林産(現地実習 きのこ生産現場、桐植栽地、加工施設等見学)							
2 火	15 現場管理の基礎(現場の安全管理、費用、施業の収支)	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)						
3 水	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラップル実習)							
4 木	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラップル実習)							
5 金	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
6 土								
7 日								
8 月	28 チェーンソー伐木造材技術(特殊伐採、木登り)							
9 火	19 ハーベスタシミュレータートレーニング							
10 水	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
11 木								建国記念の日
12 金	19 ハーベスタシミュレータートレーニング							
13 土								
14 日								
15 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
16 火	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
17 水	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラップル実習)							
18 木	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラップル実習)							
19 金	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラップル実習)							
20 土								
21 日								
22 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
23 火								天皇誕生日
24 水	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラップル実習)							
25 木	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)/35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラップル実習)							
26 金	37 安全の基礎(リスクアセスメント・まとめ)					28 チェーンソー伐木造材技術		
27 土								
28 日								

### 3月

日\時限		1	2	3	4	5	6	7	摘要
1	月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
2	火	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
3	水	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
4	木	53 社会人教養(林業就業に向けて)							
5	金	52 オリエンテーション(修了式)							<b>修了式</b>
6	土								
7	日								
8	月								
9	火								
10	水								
11	木								
12	金								
13	土								
14	日								
15	月								
16	火								
17	水								
18	木								
19	金								
20	土								
21	日								
22	月								
23	火								
24	水								
25	木								
26	金								
27	土								
28	日								
29	月								
30	火								
31	水								

## Ⅶ シラバス




ハーベスタシミュレータ  
トレーニング

育苗  
(生産現場の見学)




架線集材

No.	1	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	森林・林業	
細目	森林・林業の基礎	
講師	福島大学、県職員	


背景と目的	<p>林業は木材生産に加え、災害防止や水源涵養など森林の公益的機能を支える重要な産業である。</p> <p>本講座は、森林の役割と林業の意義、福島県の現状を学び、林業を担う上で必要な基礎知識と視点を身につけることを目的とする。</p>			
概要	<p>森林の多面的機能と林業の役割を理解し、森林・林業に関する基本的な知識と基礎的技能を身につける。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の多様性と林業の社会的役割を理解している。</li> <li>・林業業務で用いる地図の種類と用途を知る。</li> <li>・森林の多面的機能や森林施業が及ぼす効果・影響を理解している。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	日本の森林と森林の役割			
	森林を育てる木を収穫する			
	森林資源を使う福島の森林と林業の成り立ち			
	震災と原発事故の影響			
	森林行政と森林政策			
	地域林業の振興に向けて（グループワーク）			
	森林のはたらき（多面的機能）と基礎知識	1		1
	森林の構造と発達段階	1	2	3
	森林の環境		4	4
	合計	7	7	14

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	2	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	森林・林業	
細目	林業の仕事	
講師	福島県森林組合連合会、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会	


背景と目的	<p>林業の現場は、林業に携わらないと実際に見ることが難しい状況にある。</p> <p>本講座は、林業の現場等で実際の施業や活動を視察し、就業前長期研修で行う講座内容の理解醸成を図るとともに、林業の全体像を把握することを目的とする。</p>			
概要	<p>林業経営を行う団体を訪問し、植栽・保育・生産から木材の流通・加工まで、林業の一連の工程を現場で視察する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業経営を行う主体を知る。</li> <li>・視察を通じて、林業の仕事をイメージできる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	林業経営を行う主な諸団体	1		1
	森林組合の業務の視察		3	3
	民間の林業経営体の業務の視察		3	3
	合計	1	6	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	3	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	森林・林業	
細目	林業の手道具	
講師	田村森林組合	


背景と目的	<p>林業では、機械化が進む現在も、作業の種類によって様々な手道具が使われている。</p> <p>本講座は、林業の基本技能として重要な手道具の適切な取扱方法等を習得する。</p>			
概要	<p>林業で使われる手道具の用途を理解するとともに、実習を通じて安全な使い方やメンテナンス方法を習得する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの刃物の用途と使い方が理解できる。</li> <li>安全作業のためには道具のメンテナンスが重要であることを知る。</li> <li>ロープワークの用途や結び方を理解できる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	刃物の基礎知識	1		1
	鉋・鋸・鎌・斧・鋤・トビの用途と使い方	1	4	5
	ロープワーク（もやい結び、徳利結び、南京結び、ねじり結び）		1	1
	合計	2	5	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	実習棟
取得できる資格	-

No.	4	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	森林・林業	
細目	森林・林業政策	
講師	県職員	


背景と目的	<p>森林・林業政策は森林・林業基本法の理念のもと、多面的機能の発揮と持続的発展に向け推進されている。</p> <p>本講座は、本県の現状を踏まえ政策と法制度の概要を学び、林業の社会的役割を理解することを目的とする。</p>			
概要	<p>森林・林業・木材産業の現状と課題、関係法令等を理解するとともに、伐採・伐採後の造林の届出の作成演習でさらに理解を深める。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林・林業政策の動向や目標を理解できる。</li> <li>・政策や法律の概要を理解できる。</li> <li>・伐採・伐採後の造林の届出の作成方法を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	森林・林業・木材産業の現状と課題	1		1
	森林法と森林・林業基本法	0.5		0.5
	森林計画制度（国・地域・市町村）の概要	0.5		0.5
	森林経営計画の概要	0.5		0.5
	伐採・伐採後の造林の届出	0.5		0.5
	合計	3	0	3

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室
取得できる資格	-

No.	5	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	森林・林業	
細目	樹木学、樹木調査	
講師	福島大学	


背景と目的	<p>林業は、森林で経済的利用を目的として、樹木を植栽し、育成・管理して、主に木材を生産する産業である。</p> <p>本講座は、森林を構成する代表的な樹木の特徴を理解するとともに、樹木の分類方法の習得を目的とする。</p>			
概要	<p>様々な樹種の特徴を学び、葉や樹皮等から樹種を同定する知識術を習得するとともに、枝葉等で同定する実習を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な樹種の特徴や生育適地を理解している。</li> <li>代表的な樹種のサンプルを見て識別・同定する方法を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	樹木の特徴と分類			
	代表的樹種の生理的要求と、光・土壌・水分条件の関係	3	4	7
	樹木の識別・同定（葉・樹皮等）			
	樹木の識別・同定（果実・冬芽等）、森林土壌生物等	3	4	7
	合計	6	8	14

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	6	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	森林・林業	
細目	森林保護	
講師	福島大学	


背景と目的	<p>森林を適正に育成・管理していくには、気象災害、病虫害、鳥獣害への対策が必要となる。</p> <p>本講座は、森林被害の実態を理解するとともに、防除手法等の習得を目的とする。</p>			
概要	<p>森林の健全な成長を阻害する要因となる森林被害（気象害、病虫害、鳥獣害）とその保護対策に関する知識・技術を習得するとともに、被害地の見学を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象害の種類と特徴が理解できる。</li> <li>・病虫害・鳥獣害の種類と特徴が理解できる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	気象害の種類（風害・雪害・山火事など）	1		1
	病虫害の種類と特徴（松くい虫・ナラ枯れ・スギカミキリ）	1		1
	鳥獣害の種類と特徴（シカ・クマ・サルなど）	1		1
	病虫害・鳥獣害の防除方法	1		1
	シカ害防除の現場視察		3	3
	ナラ枯れ被害地等（マツクイ含む）の現場視察		3	3
	間伐遅れ林分（または被害林分）の現場視察		3	3
	森林保護に関するワークショップ	1		1
	合 計	5	9	14

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	7	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林産利用	
細目	木材流通概論	
講師	岡山大学	


背景と目的	<p>全国的に木材価格の低迷が続く中、安定して利益を確保できる流通体制の構築が求められている。</p> <p>本講座は、木材需要に応じた供給・流通の仕組みの基礎を学ぶことを目的とする。</p>			
概要	<p>木材の流通や規格、需給動向について学び、林業におけるサプライチェーン全体の仕組みとその重要性を理解する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材流通の仕組みが理解できる。</li> <li>・原木の用途区分と製材の関係がイメージできる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	木材の需給と価格の仕組み	1		1
	木材流通の基礎	1		1
	原木の用途区分（A～D材）と製材の基本（木取り・歩留まり）	1		1
	木材流通の現地視察（中間土場・近隣工場等）		4	4
	合計	3	4	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	8	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林産利用	
細目	原木市場	
講師	岡山大学	


背景と目的	<p>需要の高い材を生産するには、その特徴とともに、原木市場がどのように取引や価値決定を行うかを理解する必要がある。</p> <p>本講座は、原木市場の仕組みと役割を学び、需要に応じた材を判断し生産するための知識を身につけることを目的とする。</p>			
概要	<p>原木の価値に応じた採材を行うため、需要先が求める規格や品質を学ぶとともに、原木市場を視察して理解を深める。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要に即した原木の規格・品質を知る。</li> <li>・原木市場の現地視察を通じて、A～D材の仕分けがイメージできる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	原木市場の特徴	0.5		0.5
	原木の種類・規格・品質	0.5		0.5
	原木の採材と桟積み	0.5		0.5
	樹種・品質の見方	0.5		0.5
	原木市場の現地視察		2	2
	合計	2	2	4

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	9	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林産利用	
細目	木材加工	
講師	岡山大学	


背景と目的	<p>林業従事者は就業後に自らの材がどのように製材・加工されるかを見る機会が少ないが、その理解は森林管理にも重要である。</p> <p>本講座は、原木が製品となるために必要な条件と加工の流れを学ぶことを目的とする。</p>			
概要	<p>木材利用に必要な乾燥や加工の知識・技術を習得する。あわせて近隣の木材加工工場を視察し、実際の工程を学ぶことで理解を深める。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の強度と含水率の関係を理解できる。</li> <li>・木材の様々な加工方法を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	木材の強度特性（曲げ・圧縮・ヤング係数など）	2		2
	木材の強度に影響する因子（樹種・含水率など）	3		3
	木材の乾燥と製材	3		3
	近隣工場の現地視察（合板・集成材・プレカット・チップ）		2	2
	合計	8	2	10

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	10	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林産利用	
細目	木造建築	
講師	岡山大学	


背景と目的	<p>林業従事者は自らの生産材がどのように使われるかを知る機会が少なく、森林管理にはその利用実態の理解が重要である。</p> <p>本講座は木材の主用途である木造建築を通じて利用の流れを学ぶことを目的とする。</p>			
概要	<p>木材利用の中心である木造建築について、その歴史・文化や林業とのつながりを学ぶとともに、関連施設を視察して理解を深める。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な建築用材が原木からどのように採材されるか理解できる。</li> <li>需要や加工設備の変遷に伴う木材利用の変化を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	木造住宅の構造と工法	1		1
	公共施設の木質化	1		1
	木材利用の歴史と文化	1		1
	公共木材利用施設の視察（研修施設を使用した学習）		4	4
	合計	3	4	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	11	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林産利用	
細目	木質バイオマス利用	
講師	岡山大学	


背景と目的	<p>県内では木質バイオマス発電所が増加し、木材需要が大きく変動している。</p> <p>本講座は、エネルギー利用に求められる規格と需要先の意向を理解することを目的とする。</p>			
概要	<p>木材のエネルギー利用の基礎を理解し、関連するバイオマス施設を視察して学ぶ。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材のエネルギー利用としての熱・電力の基礎を知る。</li> <li>・木質バイオマスの需給状況を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	熱エネルギーとしての木材利用	0.5		0.5
	発電のための木材利用	0.5		0.5
	原木のチップ等への加工	0.5		0.5
	含水率とエネルギーの相関	0.5		0.5
	バイオマス関連施設の視察		5	5
	合計	2	5	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	12	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林産利用	
細目	検知	
講師	福島県中央木材市場	


背景と目的	<p>生産した素材の検知により材積を把握し、数量を正確に確定する必要がある。</p> <p>本講座は、素材を適切に検知し数量を算定する基本的な方法を習得することを目的とする。</p>			
概要	<p>素材検知の技術を習得するため、素材検知に係る基礎知識を学ぶとともに、素材検知の実習を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材検知に係る基礎知識を習得する。</li> <li>検知の方法や作業の流れを習得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	素材検知の基礎知識	1		1
	素材検知実習		2	2
	合計	1	2	3

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	13	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林産利用	
細目	特用林産	
講師	森産業株式会社、県内特用林産生産者、県職員	


背景と目的	<p>木材以外の林産物は林業経営における重要な資源であり、その特性や活用方法を理解する必要がある。</p> <p>本講座は、特用林産物の基礎知識と活用方法を学び、林業経営に生かす力を養うことを目的とする。</p>			
概要	<p>県内で特徴的な特用林産物の種類と現状について理解を深めるとともに、生産現場の視察を通じて実際の取り組みを学ぶ。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特用林産物の種類や基礎情報を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	特用林産物の概要			
	きのこの生態、シイタケの生産方法 等	1		1
	特用林産物としての薪・木炭	1		1
	桐・漆生産の概要	1		1
	植菌作業体験実習		4	4
	特用林産物の生産現場視察		7	7
	合計	3	11	14

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	14	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林業経営・先端技術等	
細目	林業経営の基礎	
講師	福島大学	


背景と目的	<p>多様な主体が関わる林業生産の現場では、その役割と連携構造を理解することが求められている。</p> <p>本講座は、林業に関わる関係主体の役割と連携を理解し、林業経営の全体像を把握することを目的とする。</p>			
概要	<p>林家、森林組合、林業事業体といった様々な団体の生産現場等を視察する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林家、森林組合、林業事業体といった複数の団体の取組を知る。</li> <li>・規模に応じた事業・経営の方法を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	林業経営の概要	1		1
	林家への聞き取りまたは現地視察		15	15
	森林組合への聞き取りまたは現地視察		2	2
	林業事業体への聞き取りまたは現地視察		3	3
	合計	1	20	21

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
参考書	・山も人もいきいき 日吉町森林組合の痛快経営術／・林業経営力アップ！痛快人材育成術
取得できる資格	-

No.	15	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林業経営・先端技術等	
細目	現場管理の基礎	
講師	福島大学	


背景と目的	<p>全国で小・中規模の森林所有者が多く、提案型集約化施業による効率的な管理が進む中、その理解が求められている。</p> <p>本講座は提案型集約化施業の概要と仕組みを学ぶことを目的とする。</p>			
概要	林業経営の効率化を図るための工程管理、コスト計算等、現場管理の考え方・基礎を学ぶ。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の収支構造をイメージできる。</li> <li>・作業計画書の作成等を通じて、現場管理の手法を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	林業現場の安全管理	1		1
	現場でかかる費用（人件費・機械経費ほか）	1		1
	森林施業の収支	2		2
	提案型集約化施業の基礎	3		3
	森林施業プランナーの業務	3		3
	ー所有者との合意・境界・路網・施業方法・収支積算			
	合計	10	0	10

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	16	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林業経営・先端技術等	
細目	林業ICTと森林GISの基礎	
講師	外部講師	


背景と目的	<p>人材不足に対応しICT活用が急務となる中、森林GISを含む先端技術の現状と特徴を学ぶ必要がある。</p> <p>本講座はICTと森林GISの基礎を理解し、活用するための基礎的な技能を身につけることを目的とする。</p>			
概要	<p>林業分野におけるICTの全体像を理解し、演習を通じて先端技術である森林GISの基礎を習得する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業業務に活かせるICTの全体像がイメージできる。</li> <li>・森林GISの基礎操作を行うことができる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	森林における情報通信技術	2		2
	森林GISの基礎	1		1
	オープンデータの活用	1		1
	森林GIS実習		10	10
	合計	4	10	14

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	17	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林業経営・先端技術等	
細目	ドローン技術	
講師	外部講師	


背景と目的	<p>人材不足が深刻化する中、ICT（情報通信技術）の活用推進が急務となっている。</p> <p>本講座は、先端技術の一つであるドローンの特性を学ぶことを目的とする。</p>			
概要	<p>先端技術であるドローン技術の基礎を知るとともに、ドローンの操作を体験する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローンの特性（取得できる情報、作業の効率化等）を知る。</li> <li>ドローン操作の基礎技術を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	航空法等について	2		2
	UAV（ドローン）実習		5	5
	合計	2	5	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	18	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林業経営・先端技術等	
細目	森林3次元計測技術	
講師	外部講師	


背景と目的	<p>人材不足が深刻化する中、ICT（情報通信技術）の活用推進が急務となっている。</p> <p>本講座は、森林3次元計測技術の特徴を理解することを目的とする。</p>			
概要	<p>森林3次元計測システムの概要や特徴を学ぶとともに、測量及び解析実習を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林3次元計測システムの特徴（取得できる情報、作業の効率化等）を理解する。</li> <li>・森林3次元計測システムの測量及び解析方法を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	レーザによる測量・計測・航測	2		2
	森林3次元計測システムを用いた森林調査		1	1
	森林3次元計測システムにより取得したデータの解析実習		4	4
	合計	2	5	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	19	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林業経営・先端技術等	
細目	ハーベスタシミュレータートレーニング	
講師	外部講師、県職員	


背景と目的	<p>シミュレーターによる練習であれば安全で天候に関係なく操作練習ができる。</p> <p>本講座は、雨天関係なく反復練習を行い、機械操作技能の習得を目的とする。</p>			
概要	<p>高性能林業機械のうち最も多機能であるハーベスタについて、シミュレーターにより伐倒・枝払・玉切・集積作業の反復トレーニングを行う。</p>			
到達目標	<p>・伐倒から枝払・玉切・集積作業まで一貫して行うハーベスタの操作に慣れる。</p>			
	講義内容	座学	実習	合計
	ハーベスタシミュレータートレーニング		28	28
	合計	0	28	28

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	ハーベスタシミュレーター室
取得できる資格	-

No.	20	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	林業経営・先端技術等	
細目	放射性物質対策	
講師	JAEA	


背景と目的	<p>本県は、東日本大震災福島第一原子力事故の影響で林産利用に大きく影響を受けた。空間線量率は年々低下しているものの、影響がなくなつたわけではない。</p> <p>本講座は、安全対策の一環として放射線物質対策を学ぶことを目的とする。</p>			
概要	<p>森林施業等における放射性物質対策等を学ぶとともに、森林内での空間放射線量率調査を体験する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線や放射性物質およびその対策の基礎知識を得る。</li> <li>森林の放射能汚染の現状と課題を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	放射性物質の基礎知識及び人体への影響	1		1
	森林における放射性物質の動態	1		1
	放射性物質データの取扱の基礎	1		1
	森林内の空間線量率調査の実務		4	4
	合計	3	4	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	21	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	造林・育林	
細目	育苗	
講師	(有)上原樹苗	


背景と目的	<p>伐期到来で主伐・再造林が進む中、育種技術の進歩を踏まえた種苗生産が重要となっている。</p> <p>本講座はコンテナ苗やエリートツリー等の種苗・苗木生産を学ぶことを目的とする。</p>			
概要	苗木生産の基礎知識・技術を習得するとともに、苗木の生産・管理現場を視察する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>苗木生産技術の基礎を知る。</li> <li>コンテナ苗、エリートツリーの特徴を理解する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	苗木の生産方法	2		2
	コンテナ苗・エリートツリーの特長	2		2
	苗木生産現場の視察		10	10
	合計	4	10	14

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	22	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	造林・育林	
細目	造林・更新	
講師	造林技術研究所、林業事業体	


背景と目的	<p>伐期到来で主伐・再造林が進む中、地拵え・植付・鳥獣害防除など初期作業を正確に行える技術が求められている。</p> <p>本講座は、再造林に必要な初期作業を適切に実施するための技能習得を目的とする。</p>			
概要	<p>地拵え・植付・鳥獣害防除等の目的や作業内容を理解するとともに、植付実習により苗木や道具の扱い方を学ぶ。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造林・更新のために行う各作業のつながりがイメージできる。</li> <li>・実習を通じて道具の扱い方や体の動かし方を習得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	人工造林と天然更新	2		2
	地拵えと植栽作業、一貫作業	2		2
	苗木の生産－裸苗とコンテナ苗	3		3
	地拵え実習		14	14
	コンテナ苗を用いた秋の植付実習		7	7
	合計	7	21	28

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	23	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	造林・育林	
細目	刈払機の取扱と安全性の追求	
講師	株式会社スチール	


背景と目的	<p>初期保育作業で重要となる下刈りでは、刈払機の適切な取扱い方法の理解が欠かせない。</p> <p>本講座は、下刈り作業に必要な刈払機の正しい取扱い方法の習得を目的とする。</p>			
概要	<p>刈払機を安全に取扱うため、構造と原理、日常のメンテナンス方法を学ぶ。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈払機の構造と原理を理解している。</li> <li>・刈払機のメンテナンスと現場で発生しうるトラブルに対応できる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	刈払い機の構造と原理基礎	2		2
	刈払い機の日常メンテナンスとトラブルシューティング	2		2
	合計	4	0	4

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	実習棟
取得できる資格	-

No.	24	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	造林・育林	
細目	下刈り、つる切り、除伐、枝打ち等	
講師	造林技術研究所、ふくしま中央森林組合、福島県北森林組合	


背景と目的	<p>下刈りなどの初期保育作業は、造林木が健全に成長するために欠かせない重要な作業である。</p> <p>本講座は、下刈り・つる切り・除伐・枝打ち等に関する基礎知識と作業技術を習得することを目的とする。</p>			
概要	<p>下刈り、つる切り、除伐、枝打の基本的な知識を習得するとともに、作業方法の理解のための実習を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈払機の構造・特徴、下刈り作業の留意点を理解する。</li> <li>・実習を通じて道具の扱い方や体の動かし方を習得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	下刈り作業の基礎	2		2
	下刈り作業時の安全装備	2		2
	つる切り、除伐、枝打の基本（目的・適した年齢）	2		2
	つる切り、除伐、枝打の作業方法	1		1
	下刈り実習		35	35
	つる切・除伐実習		7	7
	枝打実習		7	7
	合計	7	49	56

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	25	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	造林・育林	
細目	間伐	
講師	造林技術研究所、西白河地方森林組合	


背景と目的	<p>造林木の健全な成長と質の高い材の生産には、目標林型に応じた適切な選木が求められる。</p> <p>本講座は、選木の理論を学び、現場での選木の実践を理解することを目的とする。</p>			
概要	密度管理の基本技術、選木の方法等、間伐技術の基礎を習得する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密度管理について、さまざまな混み方の指標を計算できる。</li> <li>・実習を通じて選木を経験する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	間伐の目的と必要性	1		1
	間伐の基本（間伐の種類、間伐率等）	2		2
	混み方の指標	1	3	4
	形状比・樹冠長率・相対幹距比・林分密度管理図			
	定性間伐林分の立木評価		7	7
	立木密度・ギャップ・根曲がり・成長の優劣（被圧木）			
	定性間伐林分での選木実習（伐る木と残す木の選定）		7	7
	樹高の測定と伐倒危険範囲		3	3
	立木の重心の見方と伐倒方向の決め方		4	4
	合計	4	24	28

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	26	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	造林・育林	
細目	萌芽整理	
講師	森林組合	


背景と目的	<p>本県は、放射性物質の影響を受けたきのこ原木林を再生するため更新作業に取り組んでいる。</p> <p>本講座は、更新に不可欠な萌芽整理の作業技術を習得することを目的とする。</p>			
概要	<p>萌芽整理作業の技術を習得するため、きのこ原木林の現状と萌芽更新の基礎知識を学ぶとともに現地実習を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>きのこ原木林の現状を理解し、萌芽更新の基礎知識を習得する。</li> <li>萌芽整理における作業技術を習得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	きのこ原木林の現状	1		1
	萌芽更新の基礎知識	1		1
	萌芽整理		5	5
	合計	2	5	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	27	
区分	森林・林業に関する幅広い「知識」の習得	
科目	伐木・造材	
細目	チェーンソーの取扱いと安全性の追求	
講師	ハスクバーナ・ゼノア株式会社、株式会社スチール	


背景と目的	<p>林業災害の多くを占める伐木・造材作業では、必須の機械であるチェーンソーの安全な取扱いの理解が欠かせない。</p> <p>本講座は、チェーンソーの正しい取扱い方法の習得を目的とする。</p>			
概要	<p>チェーンソーの取扱いに関する知識及び安全性の追求に資する基礎技術を習得する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェーンソーの構造と原理を理解している。</li> <li>・チェーンソーのメンテナンスと現場で発生しうるトラブルに対応できる。</li> <li>・実践を通じた目立ての基礎技術を習得している。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	チェーンソーの構造と原理			
	国内統計から考える安全性の追求			
	チェーンソーの日常メンテナンスとトラブルシューティング		14	14
	目立て実践			
	チェーンソーの構造と原理基礎			
	チェーンソーの日常メンテナンスとトラブルシューティング		3	3
	合計	0	17	17

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	実習棟
取得できる資格	-

No.	28	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	伐木・造材	
細目	チェーンソー伐木造材技術	
講師	ハスクバーナ・ゼノア株式会社、(株)秋山林業ほか	


背景と目的	<p>林業労働災害の多くを占める伐木造材作業について、災害を防ぐには潜在リスクの把握と理解が不可欠である。</p> <p>本講座は、安全作業を身につけるまで反復練習し、リスク回避に必要な作業手順の理解を目的とする。</p>			
概要	<p>実習を通じて、チェーンソーの取り扱い、整備、切削の基本技術を習得する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐作業の留意点を理解する。</li> <li>・実習を通じて道具の扱い方や体の動かし方を習得する。</li> <li>・伐倒練習機等を用いた正確な伐木造材技術を身につける。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	JLC・WLC伐木競技から学ぶ安全技術	6	8	14
	<small>ハットザレンシユウキトサ</small> 伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作 玉切り・受け口と追い口・枝払い		175	175
	伐木造材実習・牽引具等の取扱		49	49
	特殊伐採・木登り		7	7
	合計	6	239	245

評価方法と基準	IV 評価方法と評価基準による
研修場所	実習棟、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	29	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	伐木・造材	
細目	広葉樹伐木造材技術	
講師	外部講師	


背景と目的	<p>広葉樹は生育環境で形質が大きく変わり、針葉樹とは伐倒時の留意点が大きく異なるうえ、より高度な判断が求められる。</p> <p>本講座は広葉樹の伐倒を体験し、針葉樹との違いを実感することを目的とする。</p>			
概要	<p>広葉樹の伐木造材実習を通じて、伐倒時における広葉樹と針葉樹の違いを理解する。また、危険木伐倒における注意点についても学ぶ。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>立木や斜面の形状、周辺環境に応じた伐木方法を知る。</li> <li>広葉樹や危険木に適した伐木方法を理解できる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	広葉樹と針葉樹における伐倒時の違い			
	樹形・枝振り・重心・切削速度・裂け上がり	1		1
	広葉樹、危険木の伐倒方法	2		2
	特殊伐採業務	1		1
	丸太を用いた広葉樹の玉切り		3	3
	広葉樹による伐木造材実習		14	14
	合計	4	17	21

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	30	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	伐木・造材	
細目	素材生産総合技術	
講師	福島大学	


背景と目的	<p>森林所有者への利益向上には、現場に適した効率的な作業システムの検討が不可欠である。</p> <p>本講座は、林業機械化の歴史と現在の機械の特徴を学び、適切な作業システムの組合せを理解することを目的とする。</p>			
概要	チェーンソー含め高性能林業機械、作業システム等を総合した素材生産技術の基礎を習得する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーベスタやフォワーダ等林業機械の機能を理解できる。</li> <li>・路網密度等の条件に応じた作業システムの組合せをイメージできる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
林業機械概論				
従来型機械と高性能林業機械、先進林業機械		1		1
車両系機械と架線系機械				
林業機械と路網の関係		2		2
路網密度				
素材生産の工程と作業システム		2		2
作業システムと工程管理		2		2
	合計	7	0	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室
取得できる資格	-

No.	31	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	測量・測樹	
細目	境界管理	
講師	品川弁護士、いわき市森林組合	


背景と目的	<p>民有林では境界が不明瞭な林分が多く、施業集約化や施業実施の支障となっている。</p> <p>本講座は境界（施業界）の確認方法を習得することを目的とする。</p>			
概要	境界の意味と明確化の手法等、境界管理の基本知識・技術を習得する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の境界に関する現状と課題を理解できる。</li> <li>・境界確認のための資料入手や現地確認の方法を知る。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	境界の法的位置づけ	1		1
	境界の明確化（境界明確化事業、地籍調査）	1		1
	境界確認のための資料	2		2
	森林簿・登記簿・課税台帳等			0
	微地形表現図（CS立体図等）を用いた境界の推定	1		1
	境界確認の実務実習		6	6
	資料の入手先・現地確認方法・GISとの連携			
	合計	5	6	11

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	32	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	測量・測樹	
細目	立木調査	
講師	県職員	


背景と目的	<p>森林施業では、単木から林分、周辺まで多段階で森林の姿を把握する必要がある。</p> <p>本講座は、施業に不可欠な立木調査の基礎技術を習得することを目的とする。</p>			
概要	標準地を取り、樹木の直径や樹高の計測、材積の計算に関する実習を行う。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林分のプロット調査を行うことができる。</li> <li>・立木調査の結果を基に、求められる施業が推測できる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	標準地の取り方と立木密度	1		1
	樹木の直径の測り方	1		1
	樹木の樹高の測り方	1		1
	林分の材積の計算	1		1
	蓄積・歩留りと利用材積・胸高断面積合計			0
	斜面でのプロット調査実習		10	10
	合計	4	10	14

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	33	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	測量・測樹	
細目	周囲測量	
講師	外部講師、森林組合、県職員	


背景と目的	<p>森林資源の把握や施業計画の立案には、測量技術の習得が不可欠である。</p> <p>本講座は、周囲測量の一連の手順を習得し、現場で活用できる技能を身につけることを目的とする。</p>			
概要	<p>周囲測量の基礎となるコンパス測量の実習を行うとともに、実際に現場で活用されているGNSS機器等の操作体験も行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図やGNSSの情報から地理情報が把握できる。</li> <li>・測量や製図の方法を実習を通じて習得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	地図の見方	2		2
	測量の基礎知識	3		3
	GNSS (GPS) の操作	2		2
	コンパス測量実習		14	14
	周囲測量、製図、面積計算			
	合計	7	14	21

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	34	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	測量・測樹	
細目	縦断・横断測量	
講師	外部講師、住友林業(株)	


背景と目的	<p>丈夫で簡易な森林作業道の作設を行う上では、事前の踏査と測量が不可欠である。</p> <p>本講座は、実習を通じて測量作業の一連の手順を習得することを目的とする。</p>			
概要	<p>森林作業道作設における基礎知識を学ぶとともに、縦断・横断測量及び作図を行う。また、路網設計支援ソフトを体験する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林作業道を縦断・横断等から多角的にとらえることができる。</li> <li>・地山を見て、路網ができあがった状態がイメージできる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	森林作業道作設の基礎（地山の掘削・盛土・転圧等）	1		1
	森林作業道作設における測量	1		1
	測量器具を用いた縦断・横断測量実習		9	9
	測量器具を用いた曲線部の測量実習		3	3
	路網設計支援ソフトFRDによる設計実習		7	7
	数値標高モデルの活用・縦断面および横断面の確認			
	合計	2	19	21

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、パソコン室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	35	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	林業機械・路網	
細目	高性能林業機械運転技術	
講師	高性能林業機械リース会社、林業事業体	


背景と目的	高性能林業機械の災害防止には日々の整備と操作技術の向上が重要である。 本講座は実習を通じて整備技能と安全運転技術の向上を目的とする。			
概要	フォワーダ、グラップル、プロセッサ、スイングヤーダまたはこれに類似する機械の操作練習及びメンテナンスを行う。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業機械、特に可動部の点検・メンテナンスの重要性を理解する。</li> <li>・実習を通じて個々の林業機械の操作を習得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	林業機械のトラブル	1		1
	履帯の外れ・油圧、電子系統の故障・横転・火災・盗難			
	林業機械の点検と予防メンテナンス	1	2	3
	清掃・作動油等の油量・油圧ホース・潤滑・計器パネル			
	作業環境の整備	1		1
	燃料や資材の保管・土場と桟積み・周辺的生活施設等			
	林業機械のメンテナンス実習		7	7
	スイングヤーダによる簡易架線集材実習		4	4
	グラップルによる丸太の移動・桟積み実習		22	22
	フォワーダによる丸太の運搬実習		21	21
	プロセッサによる丸太の採材実習		18	18
	合計	3	74	77

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	36	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	林業機械・路網	
細目	林内路網	
講師	外部講師、(有)南湖建設機械講習所、(有)田部林業	


背景と目的	<p>路網は、森林施業を効率的に行い、林業を営むうえで重要な生産基盤である。</p> <p>本講座は、丈夫で簡易な森林作業道を作設するための基礎知識と基礎技術の習得を目的とする。</p>			
概要	<p>適切な作業道作設のため、設計、踏査、作設の基本知識・技術を習得する。また、バックホーの基本的な操作方法を習得する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面や測量器具、現地の観察を通して路線の踏査を経験する。</li> <li>・ 丈夫な森林作業道作設に必要なバックホー操作を理解する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	林業における路網の種類（森林作業道・林業専用道・林道）	2		2
	森林作業道の規格と通行車両・機械の関係	1		1
	福島県の地形・地質の特徴と路網作設時の留意点	1		1
	林業機械と森林作業道	1		1
	路線の選定			
	地形・土壌・立木や下層植生等から山のサインを読む	2		2
	微地形表現図（CS立体図等）の読図			
	路線の踏査実習		14	14
	バックホーの基本操作		21	21
	平坦地での掘削作業の基本操作		21	21
	森林作業道開設実習		14	14
	合計	7	70	77

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	35	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	安全衛生	
細目	安全の基礎	
講師	林材業労災防止協会福島県支部、各実習の講師	


背景と目的	<p>林業は労働災害が全産業平均を大きく上回り、安全意識と知識の向上が強く求められている状況にある。</p> <p>本講座は危険予知とリスク評価、防護衣の重要性を学び、事故防止の意識を養うことを目的とする。</p>			
概要	<p>森林作業における安全の考え方や基礎知識を習得するとともに、リスクアセスメント実習により安全対策の基礎技術を知る。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな森林施業で起こりうる事故を理解する。</li> <li>・事故を予防するための活動や防護衣の重要性を理解する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	林業労働災害の現状	2		2
	労働安全衛生法	2		2
	作業別事故の事例研究	2		2
	危険予知ミーティングとリスクアセスメント	2		
	事故発生時の緊急連絡	1		1
	リスクアセスメント実習		15	15
	キックバックと枝落下の衝撃シミュレーション	1		1
	へび、八子等の危険性	3		3
	合計	13	15	26

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、別途指定の現場
取得できる資格	-

No.	38	
区分	森林施業「技術」の習得	
科目	安全衛生	
細目	労働災害対応	
講師	林材業労災防止協会福島県支部講師	


背景と目的	<p>林業は労働災害が全産業平均を大きく上回り、安全確保のための知識と対応力の向上が求められている。</p> <p>本講座は森林内での労働災害対応を習得し、自身と同僚の安全を守る力を高めることを目的とする。</p>			
概要	<p>日々の作業で起こりうる事故を想定して、労働災害対応を疑似体験する。</p>			
到達目標	<p>・実習を通じて、緊急連絡や救出搬送の手順・方法を知る。</p>			
	講義内容	座学	実習	合計
	災害発生への対応	0.5		0.5
	災害発生への対応（緊急連絡方法作成演習・DVD視聴含む）	0.5		0.5
	災害発生への対応（AED、防護服の効果）①		1	1
	被災者発見～救出～緊急連絡 ②		1	1
	被災者搬送 ③		1	1
	合計	1	3	4

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、林研センター内森林
取得できる資格	-

No.	39	
区分	「資格」の取得	
科目	救命講習	
細目	救命訓練	
講師	日本赤十字社福島県支部指導員	


背景と目的	林業は災害が多く、救命・応急処置の習得が欠かせない。 本講座は、事故時に的確な救命と応急処置を行うための基礎技能の習得を目的とする。			
概要	救命講習の受講			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けがや急病への対処方法を理解し、状況に応じて手当ができる</li> <li>・赤十字救急法基礎講習認定証、救急法救急員養成講習認定証の取得</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
基礎講習				
・赤十字救急法について		1		1
・一次救命処置（心肺蘇生、AEDの使用法、気道異物除去）			1	1
・体位、保温			1	1
・学科、実技の検定（評価）		0.5	0.5	1
救急員養成講習				
・赤十字救急法について		1		1
・救急員について		1		1
・急病 けが きずの手当 骨折の手当		1	3	4
・搬送 救護		1	3	4
・総合実技			3	3
	合計	5.5	11.5	17

評価方法と基準	学科実技検定により赤十字救急法基礎講習認定証、救急法救急員養成講習認定証を取得
研修場所	大講義室
取得できる資格	赤十字救急法基礎講習受講証、救急法救急員養成講習受講証

No.	40	
区分	「資格」の取得	
科目	刈払機	
細目	刈払い等業務の基礎	
講師	林材業労災防止協会福島県支部	


背景と目的	<p>山林で刈払機を用いて下草刈りを行うには、安全衛生教育の受講が義務付けられている。</p> <p>本講座は、そのために必要な知識と安全技能の習得を目的とする。</p>			
概要	刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育の受講			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈払機による安全な作業を行うために必要な知識を習得する。</li> <li>・厚労省通達則に基づく安全衛生教育を受講し、修了証を取得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	刈払機に関する知識	1		1
	刈払機を使用する作業に関する知識	1		1
	刈払機の点検及び整備に関する知識	0.5		0.5
	振動障害及びその予防に関する知識	2		2
	関係法令	0.5		0.5
	刈払機の作業等		1	1
	合計	5	1	6

評価方法と基準	刈払機作業安全衛生教育修了証を取得
研修場所	林業研究センター内
取得できる資格	刈払機作業安全衛生教育修了証

No.	41	
区分	「資格」の取得	
科目	伐木	
細目	伐木等業務の基礎	
講師	林材業労災防止協会福島県支部	


背景と目的	<p>山林でチェーンソーによる立木伐採を行うには、法令で特別教育の受講が義務付けられている。</p> <p>本講座は、伐木作業に必要な特別教育の修得と、安全に作業するための基礎技能の習得を目的とする。</p>			
概要	伐木等の業務に係る特別教育（安衛則第36条）の受講			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェーンソーによる安全な作業を行うために必要な知識を習得する。</li> <li>・安衛則に基づく特別教育を受講し、修了証を取得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	伐木等作業に関する知識	4		4
	チェーンソーに関する知識	2		2
	振動障害及びその予防に関する知識	2		2
	関係法令	1		1
	伐木等の方法		5	5
	チェーンソーの操作		2	2
	チェーンソーの点検及び整備		2	2
	合計	9	9	18

評価方法と基準	伐木等の業務に係る特別教育修了証を取得
研修場所	林業研究センター内
取得できる資格	伐木等の業務に係る特別教育修了証

No.	42	
区分	「資格」の取得	
科目	高性能林業機械等	
細目	走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎	
講師	林材業労災防止協会福島県支部	


背景と目的	<p>原木の積載・運搬、伐採・造材・集積、地引き集材の業務には特別教育の受講が求められている。</p> <p>本講座は、これらの業務を安全かつ確実に行うための基礎技能を習得することを目的とする。</p>			
概要	伐木等、走行集材、簡易架線集材装置の運転の業務特別教育の受講			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両系木材伐出機械等による安全な作業を行うための知識を習得する。</li> <li>・安衛則に基づく特別教育を受講し、修了証を取得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	伐木等機械の運転の業務	14	21	35
	走行集材機械の運転の業務			
	簡易架線集材装置の運転の業務			
	合計	14	21	35

評価方法と基準	車両系木材伐出機械等の運転業務に係る特別教育修了証を取得
研修場所	林業研究センター研修本館、別途指定の現場
取得できる資格	伐木等機械の運転の業務に係る特別教育修了証 走行集材機械の運転の業務に係る特別教育修了証 簡易架線集材装置の運転の業務に係る特別教育修了証

No.	43	
区分	「資格」の取得	
科目	車両系建設機械	
細目	車両系建設機械運転技術	
講師	(有)南湖建設機械講習所	


背景と目的	<p>作業道開設等に必要車両系建設機械の運転には技能講習の受講が不可欠である。</p> <p>本講座は実践的な操作技能を習得し、安全に従事できる力を養うことを目的とする。</p>			
概要	車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習の受講			
到達目標	・車両系建設機械を運転する作業の安全を確保するため、知識を習得するとともに運転技術を学び、修了証を取得する。			
	講義内容	座学	実習	合計
	走行に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識	4		4
	作業に関する装置の構造、取扱い及び作業の方法に関する知識	5		5
	運転に必要な一般的事項に関する知識	3		3
	関係法令	3		3
	走行の操作		20	20
	作業のための装置の操作		5	5
	合計	15	25	40

評価方法と基準	車両系建設機械運転技能講習修了証を取得
研修場所	アカデミー機械実習スペース
取得できる資格	車両系建設機械運転技能講習修了証

No.	44	
区分	「資格」の取得	
科目	不整地運搬車	
細目	不整地運搬車運転技術	
講師	(有)南湖建設機械講習所	


背景と目的	<p>不整地運搬車の運転には、作業道開設に伴う土砂・資材運搬を行うため技能講習の受講が必要である。</p> <p>本講座は、不整地運搬車の安全かつ適切な運転技術の習得を目的とする。</p>			
概要	不整地運搬車運転技能講習の受講			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不整地運搬車を運転する作業の安全を確保するため、知識を習得するとともに運転技術を学び、修了証を取得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	荷の運搬に関する知識	4		4
	荷の運搬に必要な力学に関する知識	2		2
	関係法令	3		3
	荷の運搬		5	5
	合計	9	5	14

評価方法と基準	不整地運搬車運転技能講習修了証を取得
研修場所	アカデミー機械実習スペース
取得できる資格	不整地運搬車運転技能講習修了証

No.	45	
区分	「資格」の取得	
科目	小型移動式クレーン	
細目	小型移動式クレーン運転技術	
講師	(有)南湖建設機械講習所	


背景と目的	<p>吊り上げ荷重5t未満の移動式クレーンによる木材積込みには技能講習の受講が必要である。</p> <p>本講座は必要な運転技能を習得し、安全作業を実践できる人材育成を目的とする。</p>			
概要	小型移動式クレーン運転技能講習の受講			
到達目標	・小型移動式クレーンを運転する作業の安全を確保するため、知識を習得するとともに運転技術を学び、修了証を取得する。			
	講義内容	座学	実習	合計
	小型移動式クレーンに関する知識	6		6
	小型移動式クレーン運転技能講習に係る原動機および電気に関	3		3
	小型移動式クレーン運転のために必要な力学に関する知識	3		3
	関係法令	2		2
	小型移動式クレーンの運転		6	6
	小型移動式クレーン運転のための合図		1	1
	合計	14	7	21

評価方法と基準	小型移動式クレーン運転技能講習修了証を取得
研修場所	アカデミー機械実習スペース
取得できる資格	小型移動式クレーン運転技能講習修了証

No.	46	
区分	「資格」の取得	
科目	玉掛	
細目	玉掛け技術	
講師	(有)南湖建設機械講習所	


背景と目的	<p>クレーンを用いた木材の荷掛け・荷外し作業に従事するには、玉掛け技能講習の受講が不可欠である。</p> <p>本講座は、現場で安全に玉掛け作業を行うための基礎技術と知識の習得を目的とする。</p>			
概要	玉掛け技能講習の受講			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉掛け業務の安全を確保するため、知識を習得するとともに玉掛けの操作技術を学び、修了証を取得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	クレーン等に関する知識	1		1
	クレーン等の玉掛けの方法	7		7
	関係法令	3		3
	クレーン等の玉掛け		6	6
	合計	11	6	17

評価方法と基準	玉掛け技能講習修了証を取得
研修場所	アカデミー機械実習スペース
取得できる資格	玉掛け技能講習修了証

No.	47	
区分	「資格」の取得	
科目	ロープ高所作業	
細目	ロープ高所作業技術	
講師	林材業労災防止協会福島県支部	


背景と目的	樹上作業等、2m以上かつ作業床が設置困難な場所では、フルハーネス使用に特別教育が必要である。 本講座は、安全なロープ高所作業技術の習得を目的とする。			
概要	ロープ高所作業特別教育の受講			
到達目標	・樹上作業におけるロープ高所作業の安全を確保するため、知識、技術を学び、修了証を取得する。			
	講義内容	座学	実習	合計
	ロープ高所作業に関する知識	1		1
	メインロープ等に関する知識	1		1
	労働災害の防止に関する知識	1		1
	法令関係	1		1
	ロープ高所作業の方法		1	1
	墜落による労働災害防止のための措置		0.5	0.5
	安全帯と保護帽の取扱い		0.5	0.5
	メインロープ等の点検		1	1
	合計	4	3	7

評価方法と基準	ロープ高所作業特別教育修了証を取得
研修場所	アカデミー機械実習スペース
取得できる資格	ロープ高所作業特別教育修了証

No.	48	
区分	「資格」の取得	
科目	墜落制止用器具	
細目	フルハーネス型安全帯使用作業	
講師	(有)南湖建設機械講習所	


背景と目的	<p>樹上作業等、2m以上かつ作業床が設置困難な場所では、フルハーネス使用に特別教育が義務付けられている。</p> <p>本講座は、安全に樹上作業を行うための知識と技能の習得を目的とする。</p>			
概要	<p>フルハーネス型安全帯使用作業特別教育の受講 (ロープ高所作業特別教育受講により学科1時間省略)</p>			
到達目標	<p>・ 墜落制止用器具(フル-初型)を用いた高所作業の安全を確保するため、知識を習得するとともに器具の使用方法等を学び、修了証を取得する。</p>			
	講義内容	座学	実習	合計
	作業に関する知識	0		0
	墜落制止用器具に関する知識	2		2
	関係法令	2		2
	墜落制止用器具の使用方法		2	2
	合計	4	2	6

評価方法と基準	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育修了証を取得
研修場所	アカデミー機械実習スペース
取得できる資格	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育修了証

No.	49	
区分	「資格」の取得	
科目	はい作業	
細目	はい作業技術	
講師	郡山産業機械講習所	


背景と目的	荷役運搬機械によるはい作業には、安全衛生教育を受け労働災害防止の知識習得が求められる。 本講座は必要な安全知識と作業技術を身につけることを目的とする。			
概要	はい作業従事者安全衛生教育の受講			
到達目標	・荷役運搬機械等を用いたはい作業の安全を確保するため、知識を習得するとともに操作方法を学び、修了証を取得する。			
	講義内容	座学	実習	合計
	はいに関する知識	0.5		0.5
	荷役運搬機械等によるはい作業の方法等に関する知識	2.5		2.5
	災害事例	1		1
	関係法令	1		1
	合計	5	0	5

評価方法と基準	はい作業従事者安全衛生教育修了証を取得
研修場所	長期研修講義室
取得できる資格	はい作業従事者安全衛生教育修了証

No.	50	
区分	「資格」の取得	
科目	架線集材	
細目	架線集材	
講師	林材業労災防止協会福島県支部	


背景と目的	急傾斜地では架線系集材が適し、車両系主流の現在でも将来的需要が見込まれている。 本講座は架線集材を安全に行う知識・技術の習得を目的とする。			
概要	林業架線作業主任者免許規定に基づく林業架線作業講習の受講			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業架線作業主任者免許規定に基づく林業架線作業講習を修了する。</li> <li>機械集材装置運転業務に係る特別教育の修了証を取得する。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	機械集材装置および運材索道に関する知識	21		21
	林業架線作業に関する知識	14		14
	林業架線作業に必要な力学に関する知識、関係法令	14		14
	索張りおよび控えのとり方並びに点検		8	8
	支柱、盤台等の作り方および点検		8	8
	機械集材装置および運材索道の主要機器の据え付け方法、点検		4	4
	主索の安全係数の点検		4	4
	鋼索の止め方および継ぎ方		4	4
	重量目測		2	2
	荷かけおよび荷はずし		4	4
	運転実習		22	22
	合計	49	56	105

評価方法と基準	講習修了証明書取得
研修場所	長期研修講義室、林業研究センター内、塙町実習フィールド
取得できる資格	林業架線作業主任者免許規定に基づく林業架線作業講習の修了証 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育修了証

No.	51	
区分	「インターンシップ」の実施	
科目	就業体験	
細目	就業体験（インターンシップ）	
講師	-	

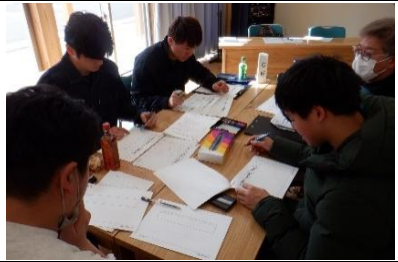
背景と目的	<p>林業の新規就業者の定着率は3年で約50%と低く、研修内容と現場の実態にギャップがあることが課題となっている。</p> <p>本講座は、林業事業体での実務体験を通じて現場とのギャップを理解し、希望する就業先の選定に役立てることを目的とする。</p>			
概要	県内林業事業体または森林組合で就業体験を実施する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業体験を通じて林業の現場や就業のイメージをつかむ。</li> <li>・自らの希望に沿う就業先となりうる組織・団体の情報収集ができる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	就業ガイダンス	21		21
	インターン先のリサーチ・準備、就業体験の心構え	3		3
	インターンシップ第1期（3日間）		21	21
	インターンシップ第2期（9日間）		63	63
	インターンシップ第3期（9日間）		63	63
	就業体験後の面談	10		10
	就業体験報告会、礼状作成	10		10
	合計	44	147	191

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室、インターン先
取得できる資格	-

No.	52	
区分	「インターンシップ」の実施	
科目	総合講義	
細目	オリエンテーション	
講師	県職員	

背景と目的	<p>本研修では、受講生が安全で円滑に学習を進められるよう、研修方針や規律を共有し、学習環境への理解を深めることが求められている。</p> <p>本講座は、受講開始にあたり研修の概要やルールを理解し、今後の学習に主体的に取り組むための基礎を整えることを目的とする。</p>			
概要	<p>1年間のカリキュラムを受講するための規則等を確認するとともに、講師や同級生等との接し方など、社会人としての姿勢・態度を学ぶ。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラムを受講するための規則や制度を理解している。</li> <li>社会人としてとるべき姿勢・態度を実践できる。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	入講式	1		1
	1年間のルール	2		2
	施設・設備の見学		4	4
	修了式	3		3
	合計	6	4	10


評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	大講義室、長期研修講義室
取得できる資格	-

No.	53	
区分	「インターンシップ」の実施	
科目	総合講義	
細目	社会人教養	
講師	外部講師、県職員	

背景と目的	<p>林業は地域や森林所有者など外部との関係づくりが重要であり、基本的な対人スキルが不可欠である。</p> <p>本講座は、外部と円滑に関われる社会人基礎力を養い、地域林業の担い手として成長する力を高めることを目的とする。</p>			
概要	<p>就職後に先輩や同僚と円滑に関係を築くためのコミュニケーション力等を養い、各自が学びたい内容を定め自主的に学習する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場での業務や地域社会での活動の土台となるマナーを身につける。</li> <li>・コミュニケーションスキル向上のための場数を踏む。</li> </ul>			
	講義内容	座学	実習	合計
	コミュニケーションスキル	7		7
	ビジネスマナー実習		7	7
	プレゼンテーションスキル		7	7
	メンバーシップ研修		7	7
	就業に向けて	7		7
	所得と税金	2		2
	自己啓発	70		70
	筆記試験	3		3
	合計	89	21	110

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	長期研修講義室
取得できる資格	-



No.	55	
区分	「インターンシップ」の実施	
科目	総合講義	
細目	森林文化	
講師	外部講師	

背景と目的	<p>林業は、その活動を通して森林の多面的機能の維持増進に大きく貢献している。</p> <p>本講座は、木材生産機能以外の森林の保健・レクリエーション機能や文化機能等に理解を深めることを目的とする。</p>			
概要	木材を加工し、素材生産業以外の林業の生業について考える。			
到達目標	・実習を通じて木材加工等を経験する。			
	講義内容	座学	実習	合計
	里山の暮らしと木の家	2		2
	木材の加工(マイテーブル等の制作)		5	5
	合計	2	5	7

評価方法と基準	Ⅳ 評価方法と評価基準による
研修場所	林業研究センター内
取得できる資格	-

## Ⅷ 林業アカデミーふくしまサポートチーム

### 1 目的

林業アカデミーふくしまを効果的に運営するため、森林・林業・木材産業等に精通した団体及び企業等の協力のもと、講義・実習の質的充実を図るとともに、県全体でアカデミーへの機運の醸成を図る。

### 2 協力事項

- (1) 研修講師の派遣及び技術指導
- (2) 研修フィールドの提供、機械の利用等
- (3) その他技術的助言やPR支援等

### 3 構成員（令和8年5月時点）

	団体・企業名
1	福島県森林組合連合会
2	公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
3	福島県木材協同組合連合会
4	福島県素材生産協同組合
5	林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部
6	福島県農林種苗農業協同組合
7	公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社
8	株式会社アメリカ屋
9	有限会社上原樹苗
10	有限会社大須賀林業
11	有限会社平子商店
12	有限会社田部林業
13	有限会社豊田林業
14	真名畑林業有限会社
15	コマツ福島株式会社
16	株式会社スチール
17	有限会社南湖建設機械講習所
18	ハスクバーナ・ゼノア株式会社
19	有限会社緑川林業機材
20	レンタルのニッケン郡山営業所
21	アイパワーフォレスト株式会社

22	株式会社秋山林業
23	T forest 合同会社
24	森産業株式会社
25	株式会社パスコ
26	株式会社山進
27	株式会社ジツタ
28	株式会社アクティオ

## 福島県林業研究センター敷地内

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂1

### お車でお越しの方

- JR郡山駅から車で約20分
- 郡山南I.C.から車で約10分

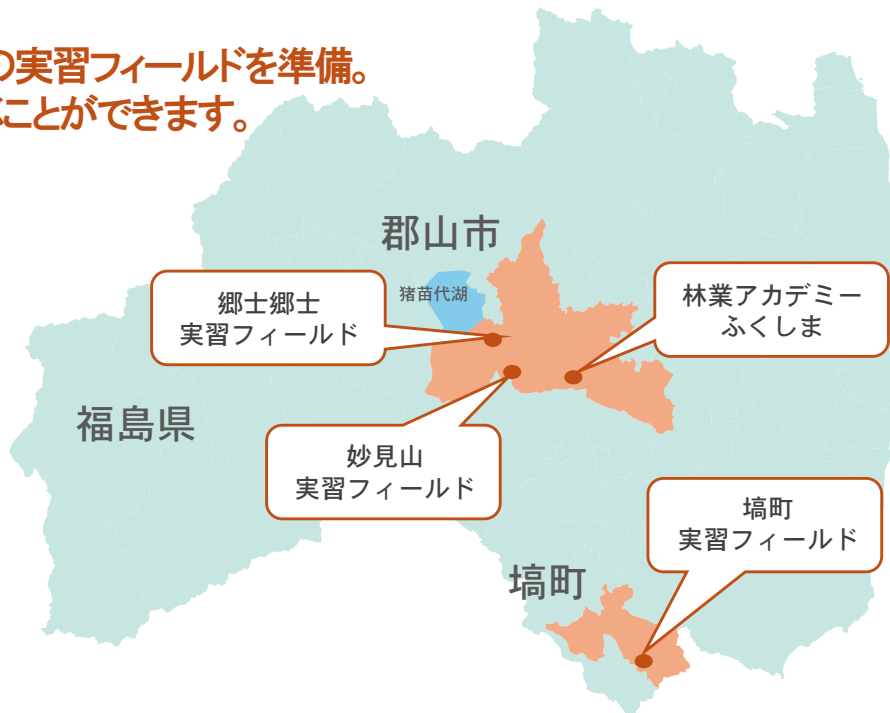
### 電車でお越しの方

- JR安積永盛駅から徒歩約40分



## 実習フィールド

林業の現場を学ぶための実習フィールドを準備。  
より実践的な技術を学ぶことができます。



実習フィールド	アカデミーからの移動時間	所有形態	主な実習内容
妙見山実習フィールド 郡山市三穂田町下守屋 妙見山国有林201林班	約20分	国有林	・ 樹木学 等
郷土郷土実習フィールド 郡山市逢瀬町多田野 郷土郷土国有林209林班	約20分	国有林	・ 伐木、造材 等
塙町実習フィールド 東白川郡塙町大字湯岐字関場1番地1	約1時間 40分	塙町	・ 造林、育林 ・ 測量、測樹 ・ 伐木、造材 等

## 相談窓口

「林業アカデミーふくしま」に関する  
疑問や質問など電話やメールにて  
お気軽にお問い合わせください。

- 研修生の募集スケジュールは？
- どんなことが学べるのか？
- 支援制度はあるのか？
- 研修後の就職先は？

## 福島県林業研究センター企画研修部

(林業アカデミーふくしま担当)

TEL 024-945-5974・5975

FAX 024-983-5251

メール forestry.rc@pref.fukushima.lg.jp



WEBサイト



Instagram



Facebook